

NEWアダージオ α

変額個人年金保険Ⅱ型2003

＜20年運用コース＞

特別勘定の月次運用レポート

2025年5月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート

この保険の投資リスクと手数料について

＜投資リスク＞

- 変額個人年金保険の一時払保険料の運用は特別勘定で行われ、特別勘定資産の運用実績に基づいて将来の年金額、死亡保険金額、積立金額および解約払戻金額が変動(増減)します。特別勘定が投資する投資信託は、国内外の株式・公社債等で運用されており、運用実績が死亡保険金額や積立金額・将来の年金額等の増減につながります。このため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により積立金額やお受け取りになる年金総額や解約払戻金額の合計額等が一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。これらのリスクは、すべてご契約者に帰属します。
- 変額個人年金保険は生命保険商品であり、預金ではありません。また、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
- 解約・一部解約(特別引出を除く)をした場合や年金受取開始日以降に年金を一括受取する場合等には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ることがあります。

＜手数料＞

- 保険関係費用:ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、積立金額に対して年率2.37%の割合で積立金額から毎日控除されます。
 - 運用関係費用:特別勘定の運用に関わる費用です。主に特別勘定が投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.463%(税抜年率1.33%)程度の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
 - 年金管理費:年金支払の管理に関わる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。将来変更される可能性があります。
 - 解約控除:ご契約日(増額部分については増額日)からその日を含めて7年未満の解約・一部解約(特別引出を除く)については、解約控除対象額※に、経過年数に応じて所定の解約控除率(7%～1%)を乗じた額が積立金額または一部解約請求金額から控除されます。
- ※ 解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求金額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。
- この商品にかかる手数料の合計額は、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用)」と「年金受取期間中の費用(「年金管理費)」」の合計額となります。また、特定のご契約者には「解約控除」がかかります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

[引受保険会社] オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

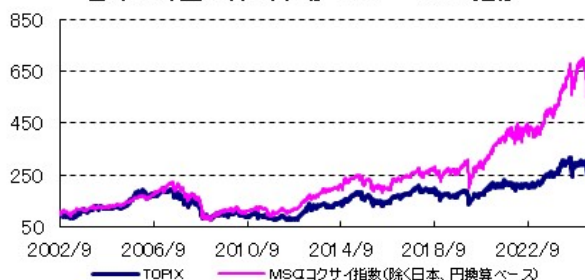
市 場 概 況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	5.33%	2.18%	▲ 0.64%	▲ 1.36%	39.17%
	TOPIX(東証株価指数)	5.03%	4.45%	4.51%	1.05%	46.47%
日本債券	NOMURA-BPI総合	▲ 1.29%	▲ 1.68%	▲ 3.16%	▲ 2.76%	▲ 8.66%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	6.92%	▲ 1.65%	▲ 3.11%	3.77%	54.61%
外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	0.99%	▲ 0.12%	▲ 1.27%	▲ 1.39%	15.86%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	0.91%	▲ 3.88%	▲ 4.56%	▲ 8.21%	12.21%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

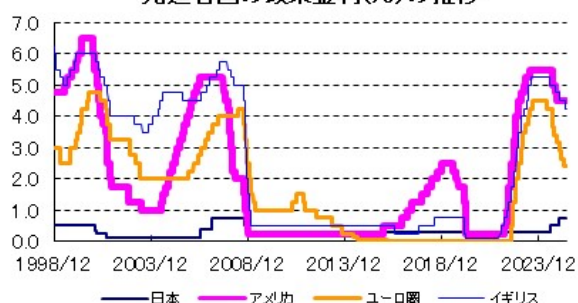


※上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



※上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定(ファンド)グループ

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)**		資産 合計 (百万円)
	株 式		債 券				投資 信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
日本株式ファンド CM	●				日本株式エクセレント・ フォーカスVA *	三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	98.6%	1.4%	1
日本株式 バリュートファンド DW	●				ダイワ・バリュー株・オープンVA2 (愛称:底力VA2) *	大和アセットマネジメント株式会社	97.4%	2.6%	83
日本株式インデックス ファンド CM	●				日本株式インデックス ファンドVA *	三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	96.0%	4.0%	18
世界株式ファンド FIE	●	●			フィデリティ・グローバル・ ファンドVA5 *	フィデリティ投信株式会社	97.1%	2.9%	232
世界株式インデックス ファンド CM		●			外国株式インデックス ファンドVA *	三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	97.0%	3.0%	24
世界債券ファンド KAX			●	●	グローバル・ソブリン・ オープン VA2 *	三菱UFJアセットマネジメント 株式会社	96.2%	3.8%	0
外国債券インデックス ファンド CM				●	外国債券インデックス ファンドVA *	三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	97.3%	2.7%	20
マネーファンド MB			●		三菱UFJ MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	三菱UFJアセットマネジメント 株式会社	97.0%	3.0%	210

* 適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

**資産配分比率は、基準日時点での申込ベースの値です。組入投資信託の運用レポートに記載された純資産総額は、基準日時点での設定ベースの値です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
日本株式エクセレント・フォーカスVA *	「日本株式エクセレント・フォーカスマザーファンド」受益証券への投資を通じて、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)を上回る投資成果を目指します。
ダイワ・バリュー株・オープンVA2 (愛称:底力VA2) *	主に日本の上場株式に投資し、現在の株価が割安と判断される銘柄を選定することによって、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)を上回る投資成果を目指します。
日本株式インデックス ファンドVA *	「日本株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)と連動する投資成果を目標として運用を行います。
フィデリティ・グローバル・ ファンドVA5 *	市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIワールド(円ベース)を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
外国株式インデックス ファンドVA *	「外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果を目標として運用を行います。
グローバル・ソブリン・ オープン VA2 *	主に世界主要国のソブリン債券に分散投資し、FTSE世界国債インデックス(含む日本、円ベース)を中長期的に上回る投資成果をあげることを目指します。
外国債券インデックス ファンドVA *	「外国債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)と連動する投資成果を目標として運用を行います。
三菱UFJ MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。

* 適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

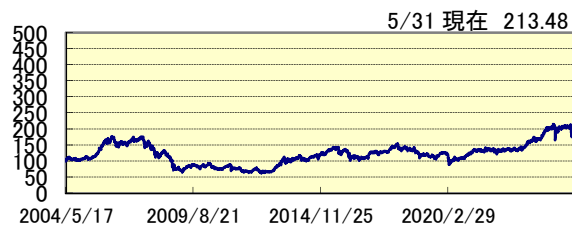
特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

日本株式ファンド CM



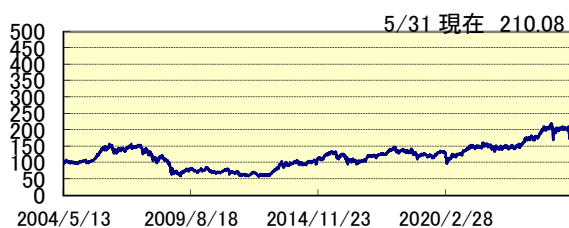
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	10.25%	8.58%	6.24%	3.12%	56.83%	142.68%

日本株式バリューファンド DW



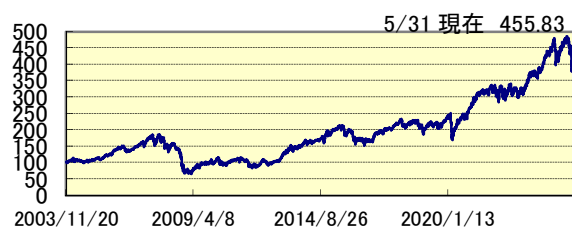
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	5.42%	5.34%	4.50%	3.99%	58.01%	113.48%

日本株式インデックスファンド CM



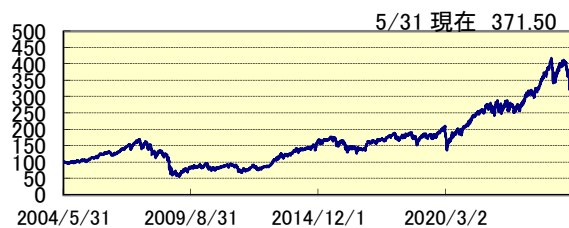
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	4.75%	4.82%	4.28%	0.84%	43.35%	110.08%

世界株式ファンド FIE



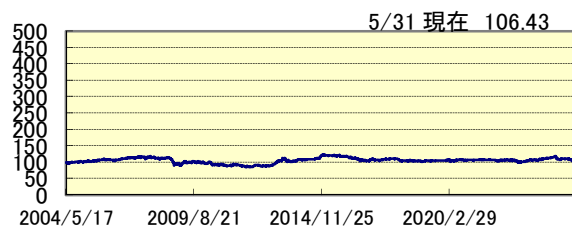
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	10.07%	0.66%	0.38%	3.36%	45.62%	355.83%

世界株式インデックスファンド CM



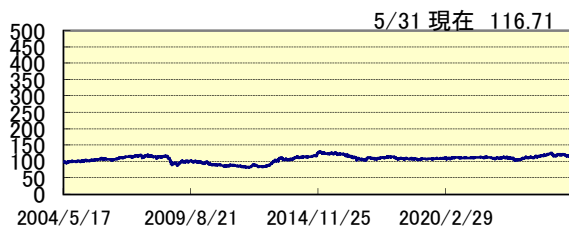
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	5.52%	-3.13%	-5.00%	-3.35%	38.03%	271.50%

世界債券ファンド KAX



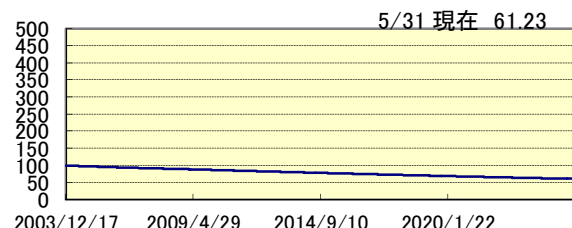
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.04%	-1.14%	-2.97%	-7.17%	0.67%	6.43%

外国債券インデックスファンド CM



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.31%	-0.84%	-2.55%	-4.46%	5.15%	16.71%

マネーファンド MB



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-0.16%	-0.49%	-1.01%	-2.10%	-6.63%	-38.77%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式ファンド CM

【特別勘定が投資する投資信託】
日本株式エクセレント・フォーカスVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本の株式。主に、「日本株式エクセレント・フォーカスマザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

「日本株式エクセレント・フォーカスマザーファンド」受益証券への投資を通じて、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)を上回る投資成果を目指します。個別企業分析に市場動向分析を積極的に付加し、投資銘柄を厳選することにより投資を行います。

作成基準日： 2025年5月30日

ファンドの状況

		前月末比
基準価額	35,895円	+3,450円
解約価額	35,895円	+3,450円
純資産総額	1百万円	+0百万円

※純資産総額は百万円未満四捨五入

株式比率	98.7%	プライム市場	48銘柄
うち現物株式	98.7%	スタンダード市場	0銘柄
うち先物株式	0.0%	グロース市場	0銘柄
コール・その他	1.3%	その他	0銘柄
		合計	48銘柄

※対純資産総額比(マザーファンドベース)

組入上位10銘柄 (マザーファンド)

	銘柄	比率	前月末比
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	6.04%	+0.99%
2	三井住友フィナンシャルグループ	4.83%	+0.86%
3	MARUWA	4.70%	+0.40%
4	三越伊勢丹ホールディングス	4.46%	+0.61%
5	ソニーグループ	4.37%	-0.41%
6	日立製作所	4.10%	+0.16%
7	三菱重工業	3.83%	-0.86%
8	川崎重工業	3.62%	-1.08%
9	リクルートホールディングス	3.11%	-0.03%
10	東京エレクトロン	3.00%	-0.07%

※対純資産総額比

基準価額への寄与度

	銘柄	寄与額
プラス要因銘柄	MARUWA	+292円
	NTTデータグループ	+286円
	三越伊勢丹ホールディングス	+262円
	三菱UFJフィナンシャル・グループ	+237円
	SHIFT	+232円
マイナス要因銘柄	ユニ・チャーム	-47円
	ニトリホールディングス	-30円
	大和ハウス工業	-19円
	村田製作所	-16円
	三井不動産	-4円

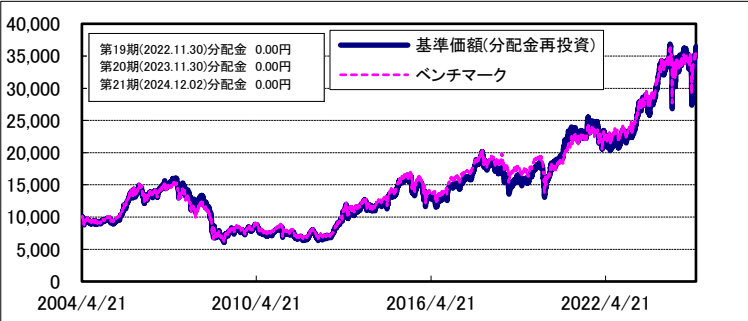
基準価額の騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	10.63%	9.36%	7.63%	5.79%	63.31%	261.46%
ベンチマーク	5.10%	5.69%	5.92%	3.58%	57.85%	256.68%
差	5.53%	3.67%	1.71%	2.21%	5.45%	4.78%

※お客様本位でわかりやすい情報開示を行うために、2023年6月末基準より、株式を投資対象とするファンドの設定来からのベンチマークおよび参考指数を、ファンドの運用成果により近い「配当込み指数」に統一しました。

※ベンチマークはTOPIX(東証株価指数)(配当込み)です。 ファンド設定日： 2004年4月21日

基準価額の推移



※ベンチマークは当初10,000として指数化しております。

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。 設定来分配金合計 90円 (10,000口あたり、課税前)

ファンドマネージャーコメント

国内株式市場は上昇しました。月前半は、米中両政府が相互に課していた追加関税の大幅な引き下げを決定したことなどを受けて上昇しました。その後、利益確定の売りなどから上値の重い展開となりましたが、月末にかけて米国の国際貿易裁判所がトランプ米大統領が発動した相互関税や一律関税措置を違法と判断したことなどを好感し、上昇幅を拡大しました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式バリューファンド DW

【特別勘定が投資する投資信託】
適格機関投資家専用・ダイワ・バリュー株・オープンVA2(愛称:底力VA2)
【運用会社】
大和アセットマネジメント株式会社

主要投資対象
日本の上場株式。主にダイワ・バリュー株・オープン・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針
主に日本の上場株式に投資し、現在の株価が割安と判断される銘柄を選定することによって、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)を上回る投資成果を目指します。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

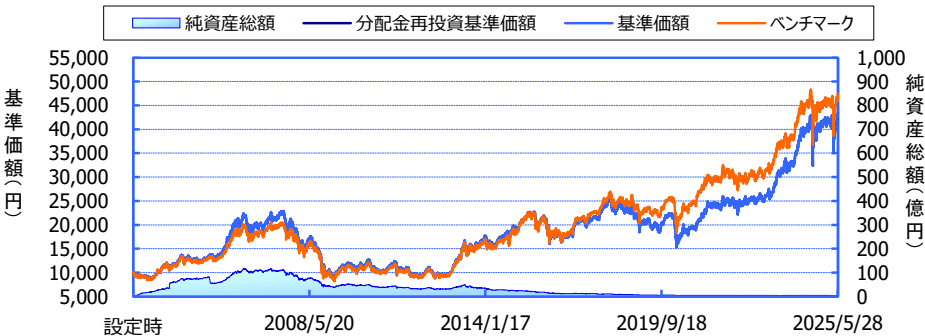
《基準価額・純資産の推移》

当初設定日(2002年9月24日)~2025年5月30日

2025年5月30日時点

基準価額	43,266円
純資産総額	3.69億円

期間別騰落率		
期間	ファンド	ベンチマーク
1カ月間	+5.8%	+5.1%
3カ月間	+6.1%	+5.7%
6カ月間	+5.9%	+5.9%
1年間	+6.6%	+3.6%
3年間	+72.6%	+57.9%
5年間	+128.7%	+101.9%
年初来	+2.3%	+1.8%
設定来	+332.7%	+372.9%



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しております。
※当ファンドは東証株価指数(TOPIX)(配当込み)をベンチマークとしておりますが、同指数を上回る運用成果を保証するものではありません。
※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

決算期(年.月)		分配金
第1~17期	合計:	0円
第18期	(20.03)	0円
第19期	(21.03)	0円
第20期	(22.03)	0円
第21期	(23.03)	0円
第22期	(24.03)	0円
第23期	(25.03)	0円
分配金合計額		設定来:0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計欄を表示していません。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成			国内株式 業種別構成		合計96.6%
資産	銘柄数	比率	東証33業種名	比率	
国内株式	110	96.6%	電気機器	11.9%	
国内株式先物	1	0.9%	銀行業	11.3%	
不動産投資信託等	---	---	機械	9.0%	
コール・ローン、その他	---	3.4%	情報・通信業	7.9%	
合計	111	---	輸送用機器	6.3%	
国内株式 市場・上場別構成			建設業	5.3%	
東証プライム市場	---	96.6%	保険業	5.3%	
東証スタンダード市場	---	0.0%	卸売業	5.0%	
東証グロース市場	---	---	化学	4.1%	
地方市場・その他	---	---	その他	30.5%	
組入上位10銘柄			合計35.0%		
銘柄名			東証33業種名	比率	
東京海上HD			保険業	4.6%	
三菱UFJフィナンシャルG			銀行業	4.2%	
三井住友フィナンシャルG			銀行業	3.7%	
小松製作所			機械	3.6%	
トヨタ自動車			輸送用機器	3.4%	
日本電気			電気機器	3.3%	
日立			電気機器	3.1%	
LINEヤフー			情報・通信業	3.1%	
住友電工			非鉄金属	3.0%	
三菱商事			卸売業	2.9%	

ファンドマネージャーのコメント

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【株式市況】 国内株式市場は米国株式市場に連動して上昇しました。米英貿易協定の合意や米中による相互関税の大幅引き下げ等の米関税交渉の進展を背景に月初から上昇基調で推移しました。その後は円高が進行したことや戻り待ちの売りとみられる動きが優勢となったことで足踏みしましたが、月後半にはトランプ米大統領がEU追加関税の発動を延期すると表明したことやエヌビディアの決算を好感し、再び上昇しました。

【運用経過】 ポートフォリオの構築に際しては、日米の政策の動向を勘案しつつ、今後の業績回復や好調な業績の継続性などに注目して銘柄を入れ替えました。また、自己株式の取得や配当金の増額などの株主還元を通じて、資本効率の改善が期待される銘柄に注目しました。具体的には、事業環境が改善し、需要回復による業績拡大と株主還元の拡充に注目した空運関連株や、旺盛な需要に対する生産体制が整い、業績見通しが改善した電子部品関連株、新経営陣の下での事業改革に注目した小売関連株などのウエートを引き上げました。一方で、米国の関税政策によって業績の先行き不透明感がより拡大した事務機関連株や鉄鋼関連株、期待された株主還元政策の向上が株価に反映されたと判断した公共関連株などのウエートを引き下げました。このような売買や株価変動により、業種構成では空運業、非鉄金属、小売業などの比率が上昇し、鉄鋼、食料品、化学などの比率が低下しました。

・当資料は、オリックス生命、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド CM

【特別勘定が投資する投資信託】

日本株式インデックスファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本の株式。主に、「日本株式マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

「日本株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)と連動する投資成果を目標として運用を行います。

作成基準日: 2025年5月30日

基準価額の推移



※お客様本位でわかりやすい情報開示を行うために、2023年6月末基準より、株式を投資対象とするファンドの設定来からのベンチマークおよび参考指数を、ファンドの運用成果により近い「配当込み指数」に統一しました。

※ベンチマークは当初10,000として指数化しております。

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

設定来分配金合計 110 円
(10,000口あたり、課税前)

信託財産(マザーファンド)の構成

●資産構成比

株 式 比 率	99.9%
うち現物	96.7%
うち先物	3.2%
コール・その他	3.3%

※対純資産総額比

●組入銘柄数

1,665銘柄

組入上位10業種(マザーファンド)

	業 種	比率※	TOPIX構成比
1	電気機器	17.37%	17.37%
2	銀行業	9.05%	9.04%
3	情報・通信業	7.85%	7.85%
4	輸送用機器	7.33%	7.32%
5	卸売業	7.00%	7.00%
6	機械	5.86%	5.86%
7	化学	4.82%	4.82%
8	小売業	4.80%	4.81%
9	サービス業	4.51%	4.53%
10	医薬品	4.12%	4.11%

※東証33業種ベース ※対現物株式評価額比

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	43,211円	+2,077円
解約価額	43,211円	+2,077円
純資産総額	1,656百万円	+63百万円

※純資産総額は、百万円未満四捨五入。

基準価額の騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	5.05%	5.55%	5.65%	3.04%	55.31%	96.61%	335.40%
ベンチマーク	5.10%	5.69%	5.92%	3.58%	57.85%	101.93%	384.79%
差	-0.05%	-0.14%	-0.28%	-0.54%	-2.55%	-5.32%	-49.40%

※ファンドの騰落率は、分配金(課税前)を分配時に再投資したものとみなして修正した基準価額を基に算出しています。

ファンド設定日: 2002年9月25日

●ベンチマーク

TOPIX(東証株価指数)(配当込み)

(注)TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社J P X総研が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した指数です。

TOPIX(東証株価指数)(配当込み)(以下、「配当込みTOPIX」という。)の指数値及び配当込みTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社(以下「J P X」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など配当込みTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及び配当込みTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、配当込みTOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

組入上位20銘柄(マザーファンド)

	銘柄	比率※		銘柄	比率※
1	トヨタ自動車	3.58%	11	三菱商事	1.40%
2	ソニーグループ	3.20%	12	伊藤忠商事	1.34%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.11%	13	みずほフィナンシャルグループ	1.28%
4	日立製作所	2.53%	14	東京エレクトロン	1.18%
5	三井住友フィナンシャルグループ	1.83%	15	日本電信電話	1.16%
6	任天堂	1.82%	16	三井物産	1.12%
7	リクルートホールディングス	1.61%	17	信越化学工業	1.01%
8	キーエンス	1.48%	18	武田薬品工業	0.94%
9	三菱重工業	1.44%	19	ソフトバンクグループ	0.92%
10	東京海上ホールディングス	1.40%	20	KDDI	0.90%

※対純資産総額比

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】 世界株式ファンド FIE

【特別勘定が投資する投資信託】
フィデリティ・グローバル・ファンドVA5 (適格機関投資家専用)

【運用会社】
フィデリティ投信株式会社

主要投資対象

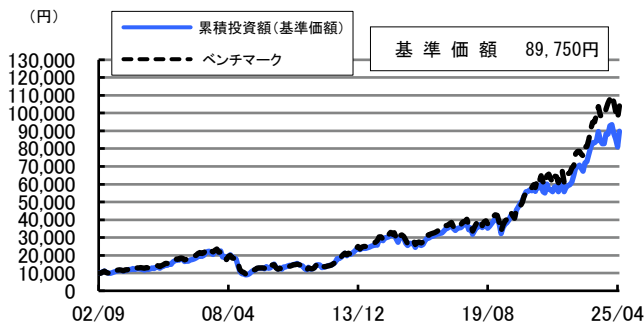
日本を含む世界の株式。主にフィデリティ・グローバル・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIワールド(円ベース)を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

設定来の運用実績

(2025年5月30日現在)



(設定時)

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

コメント

(2025年5月30日現在)

世界株式相場は、MSCIワールド・インデックスの月間騰落率で+6.00%。
【米国株式】月間騰落率は、S&P500種指数が+6.15%、ダウ工業株30種平均は+3.94%、ナスダック指数は+9.56%。米国株式は上昇しました。トランプ政権が関税引き上げ緩和の動きを見せたことから、市場の警戒感是和らぎました。米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長に対する解任要求についてトランプ大統領が否定したことも安心材料となりました。トランプ大統領が大規模な関税引き上げを発表してから米国株式市場は大幅な下げ基調となっていました。混乱は収まりを見せましたが、米国の企業業績は事前の市場予想を上回る発表が相次ぎました。関税の影響が懸念されていましたが、足元の企業業績は底堅い状況であることが確認されました。さらに、米国の雇用環境は就業者数が市場予想を上回る増加となり、米国経済の堅調さが示されました。
【欧州株式】MSCIヨーロッパ・インデックスの月間騰落率は+4.59%。月上旬は、米中貿易摩擦が緩和するとの期待感を背景に投資家心理が改善し、景気敏感株を中心に上昇しました。また、イングランド銀行(英中央銀行)による政策金利の引き下げや米英の貿易協定合意の発表などが好感されました。月中旬は、米中の相互関税の大幅引き下げが発表され、貿易摩擦懸念が後退し、市場は続伸しました。好調な業績を発表した銘柄に買いが入ったことや欧州中央銀行(ECB)の利下げ期待も市場の上支えになりました。月下旬は、ユーロ圏の購買担当者景気指数(PMI)の低下や独長期金利の上昇を受けて、下落しました。その後、トランプ米大統領がEUに対する関税措置の発動を延期すると表明したものの、米関税政策の先行き不透明感が根強く、一進一退の推移となりました。
【アジア株式】MSCI AC パシフィック・インデックス(除く日本)の月間騰落率は+4.52%。米国と中国が関税政策に関して予想外の歩み寄りを見せたことや中国人民銀行の金融緩和措置発表を受けて、株価は大きく上昇しました。
【日本株式】TOPIX(配当込)は+5.10%。当月の東京株式市場は、トランプ政権の関税政策に対する警戒感や和らいだことを背景に、前月に続き上昇しました。
米国が英・貿易協定を締結し、中国とは相互追加関税の引き下げに合意するなど、米関税政策が緩和方向に進展するとの期待が高まったことに加え、日米の金融政策が現状維持となったことや、主要企業の2024年度決算発表で自社株買いの設定が相次いだことも押し上げ要因となり、日本株は月半ばまで堅調に推移しました。その後は、米国債の格下げによる財政悪化懸念から米長期金利が上昇し、円高・ドル安が進行したことや、利益確定売りが重なり上値を抑えられる展開となりました。しかし、為替が円安に転じたことや、米国が欧州連合(EU)に対する追加関税の発動を延期したことを受けて株価は再び上昇すると、米国際貿易裁判所がトランプ関税の大部分を違法と判断したことや、米半導体大手の好決算なども支援材料となつて上値を上げました。ただし、米連邦巡回区控訴裁判所が米国際貿易裁判所の判決執行を一時的に停止する判断を下したことから、最終日は反落し、月の上昇幅をやや縮めて月を終えました。
【為替】米ドル/円相場は、約1.16%の円安(1米ドル=142.64円→144.3円)。
ユーロ/円相場は、約1.03%の円安(ユーロ=162.15円→163.81円)。
(※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。)

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンド、およびベンチマークの動向と異なる場合があります。

ポートフォリオの状況 (マザー・ファンド・ベース)

(2025年4月30日現在)

資産別組入状況

株式(実質)	97.8%
うち現物	97.8%
うち先物	-
投資信託・投資証券	-
現金・その他	2.2%

組入上位5業種

ソフトウェア・サービス	24.1%
半導体・半導体製造装置	18.7%
金融サービス	13.8%
メディア・娯楽	6.8%
資本財	6.4%

組入上位5ヶ国・地域

アメリカ	79.4%
オランダ	4.7%
フランス	3.0%
イギリス	2.3%
ドイツ	1.9%

※国・地域は発行国・地域を表示しています。

(対純資産総額比率)

* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

* 業種はMSCI/S&P GICS※に準じて表示しています。

※米国・日本・GICSとは、スタンダード&アールズがMSCI Inc.と共同で作成した世界産業分類基準(Global Industry Classification Standard =GICS)です。

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】 世界株式インデックスファンド CM

【特別勘定が投資する投資信託】
外国株式インデックスファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

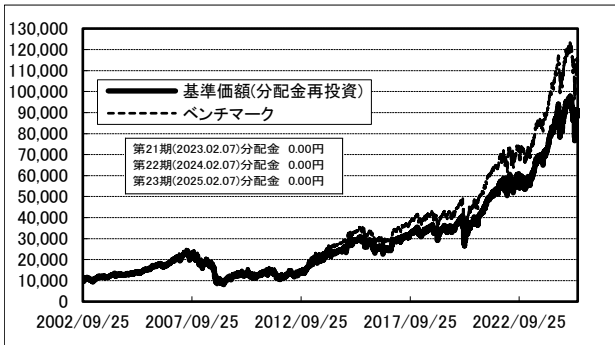
日本を除く世界の主要国の株式等。主に、「外国株式マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

「外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果を目標として運用を行います。

作成基準日： 2025年5月30日

基準価額の推移



※お客様本位でわかりやすい情報開示を行うために、2023年6月末基準より、株式を投資対象とするファンドの設定来からのベンチマークおよび参考指数を、ファンドの運用成果により近い「配当込み指数」に統一しました。

※ベンチマークは当初10,000として指数化しております。

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

設定来分配金合計 150 円
(10,000口あたり、課税前)

信託財産（マザーファンド）の構成

●資産構成比

株 式 比 率	99.9%
うち現物	97.1%
うち先物	2.8%
コール・その他	2.9%

※対純資産総額比

●組入銘柄数 1,169銘柄

組入上位10カ国（マザーファンド）

	国	比率※	ベンチマーク構成比
1	米国	76.13%	75.66%
2	英国	3.97%	3.99%
3	カナダ	3.39%	3.40%
4	フランス	2.99%	3.00%
5	ドイツ	2.78%	2.78%
6	スイス	2.60%	2.60%
7	オーストラリア	1.81%	1.82%
8	オランダ	1.21%	1.23%
9	スペイン	0.87%	0.88%
10	イタリア	0.84%	0.85%

※対現物株式評価額比

注)資料中、株式には投資信託等を含めております。

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	89,351円	+5,959円
解約価額	89,351円	+5,959円
純資産総額	1,725百万円	+107百万円

※ 純資産総額は、百万円未満四捨五入。

基準価額の騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	7.15%	-1.16%	-2.57%	4.69%	59.71%	158.59%	801.21%
ベンチマーク	7.24%	-0.95%	-2.11%	5.65%	64.14%	171.14%	1040.54%
差	-0.09%	-0.21%	-0.47%	-0.96%	-4.43%	-12.55%	-239.33%

※ファンドの騰落率は、分配金(課税前)を分配時に再投資したものとみなして修正した基準価額を基に算出しています。

ファンド設定日： 2002年9月25日

●ベンチマーク

MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

※MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した指数です。「円換算ベース」は、米ドルベース指数をもとに、当社が独自に円換算した指数です。MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権等の知的財産権及びその他の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.はMSCIコクサイ・インデックスの内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

(注1)ベンチマークの騰落率は、ファンドの評価と基準を同一にするため、基準価額を算出する

前営業日のMSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)を基に計算されたものです。

(注2)ファンドの基準価額を算出する際の為替レートは投資信託協会所定のものを使用しています。

組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘 柄	国	比 率
1	NVIDIA CORP	米国	4.83%
2	MICROSOFT CORP	米国	4.60%
3	APPLE INC	米国	4.26%
4	AMAZON.COM	米国	2.76%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	米国	1.99%
6	BROADCOM INC	米国	1.53%
7	TESLA INC	米国	1.47%
8	ALPHABET INC-CL A	米国	1.42%
9	ALPHABET INC-CL C	米国	1.22%
10	JPMORGAN CHASE & CO	米国	1.06%

※対純資産総額比

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界債券ファンド KAX

【特別勘定が投資する投資信託】
グローバル・ソブリン・オープン VA2(適格機関投資家専用)

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

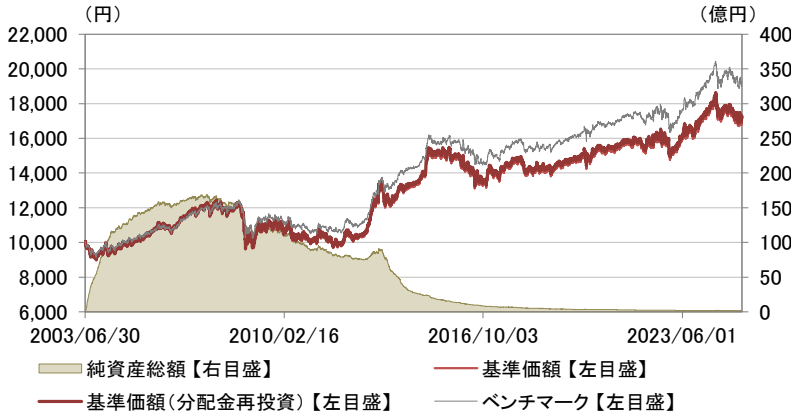
主要投資対象

日本を含む世界各国のソブリン債券(各国政府や政府機関が発行する債券)。主にグローバル・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に世界主要国のソブリン債券に分散投資し、FTSE世界国債インデックス(円ベース、日本を含む)を中長期的に上回る投資成果をあげることをめざします。

■基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(円ベース、日本を含む)です。
- ・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.2%	-0.6%	-1.9%	-3.9%	8.9%	72.0%
ベンチマーク	0.7%	-0.4%	-1.6%	-1.7%	11.9%	93.0%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
- ・また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 103銘柄

銘柄	通貨	クーポン	残存年数	比率
1 アメリカ国債	米ドル	3.1250%	19.2年	3.8%
2 スペイン国債	ユーロ	3.5500%	8.4年	2.9%
3 アメリカ国債	米ドル	4.1250%	28.2年	2.9%
4 フランス国債	ユーロ	2.7500%	4.7年	2.8%
5 アメリカ国債	米ドル	4.2500%	2.6年	2.8%
6 アメリカ国債	米ドル	4.0000%	4.2年	2.7%
7 アメリカ国債	米ドル	4.1250%	5.3年	2.7%
8 アメリカ国債	米ドル	4.0000%	4.4年	2.7%
9 アメリカ国債	米ドル	4.1250%	7.5年	2.7%
10 アメリカ国債	米ドル	3.8750%	8.2年	2.6%

■組入通貨

通貨	比率
1 米ドル	43.6%
2 ユーロ	27.3%
3 英ポンド	6.1%
4 日本円	5.8%
その他	17.2%

・為替予約等を含めた実質的な比率です。

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
3年未満	16.4%
3～5年	18.9%
5～7年	8.4%
7～10年	29.0%
10年以上	27.3%

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	17,017円
前月末比	+42円
純資産総額	1.74億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第22期	2025/02/17	0円
第21期	2024/02/19	0円
第20期	2023/02/17	0円
第19期	2022/02/17	0円
第18期	2021/02/17	0円
第17期	2020/02/17	0円
設定来累計		120円

■資産構成

	比率
債券	97.4%
内 現物	97.4%
内 先物	0.0%
コールローン他	2.6%

■ポートフォリオ特性

	当月末	ベンチマーク
最終利回り	3.9%	3.1%
デュレーション	7.3	6.9
平均残存年数	9.8年	9.5年

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・騰落率は年率換算していません。ベンチマークは基準価額との関連を考慮して、前営業日の値を用いています。・FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。・上記のベンチマークは、FTSE世界国債インデックス・データ(出所:Bloomberg)に基づき、設定日(2003年6月30日)の値を10,000として三菱UFJアセットマネジメントが指数化し計算したものです。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド) グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国債券インデックスファンド CM

【特別勘定が投資する投資信託】

外国債券インデックスファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本を除く世界の主要国の公社債。主に、「外国債券マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

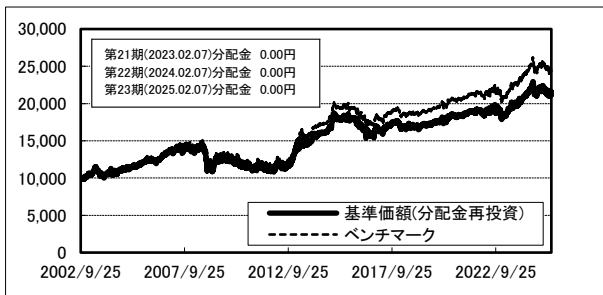
運用方針

「外国債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)と連動する投資成果を目標として運用を行います。

作成基準日: 2025年5月30日

ファンドの状況

基準価額の推移



※ベンチマークは当初10,000として指数化しております。

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

設定来分配金合計 80 円
(10,000口あたり、課税前)

信託財産(マザーファンド)の構成

● 資産構成比

外国債券	99.2%
うち現物	98.8%
うち先物	0.3%
コール・その他	1.2%

※対純資産総額比

● 組入銘柄数

902銘柄

● 修正デュレーション

ファンド

6.26

ベンチマーク

6.34

ファンド設定日: 2002年9月25日

● ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス

(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

※ FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏又は遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注1) ベンチマークの騰落率は、ファンドの評価と基準を同一にするため、基準価額を算出する前営業日のFTSE世界国債インデックスに基づき計算されたものです。

(注2) ファンドの基準価額を算出する際の為替レートは投資信託協会所定のものを使用していますが、ベンチマークの為替レートは WMR Closing Spot Rates(対USDドル)を使用しています。

組入上位10カ国(マザーファンド)

	国	比率※	ベンチマーク構成比
1	米国	45.85%	45.69%
2	中国	11.44%	11.48%
3	フランス	7.43%	7.33%
4	イタリア	6.91%	6.95%
5	ドイツ	5.82%	5.90%
6	英国	5.57%	5.66%
7	スペイン	4.64%	4.53%
8	カナダ	1.97%	1.99%
9	ベルギー	1.58%	1.61%
10	オランダ	1.33%	1.32%

※組入債券を100としたときの構成比

組入上位10銘柄(マザーファンド)

	銘柄	クーポン	償還日	比率※
1	米国国債	1.375%	2031/11/15	0.79%
2	米国国債	4.125%	2027/2/15	0.77%
3	米国国債	4.125%	2029/3/31	0.71%
4	米国国債	4.375%	2034/5/15	0.67%
5	米国国債	0.625%	2030/8/15	0.60%
6	米国国債	0.500%	2027/5/31	0.59%
7	米国国債	2.000%	2026/11/15	0.56%
8	米国国債	4.250%	2054/2/15	0.56%
9	米国国債	2.625%	2029/2/15	0.52%
10	米国国債	1.125%	2026/10/31	0.51%

※組入債券を100としたときの構成比

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネーファンド MB

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内外の公社債、CP等の短期金融商品。

運用方針

内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。
外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

2025年5月30日現在

資産構成

	評価金額(円)	比率
公社債	11,990,469,393	2.0%
（うち固定債）	(11,990,469,393)	2.0%
（うち変動利付債）	(0)	0.0%
短期金融資産	597,842,641,800	98.0%
（うちコールローン）	(281,644,000,000)	46.2%
（うちCD）	(0)	0.0%
（うちCP）	(0)	0.0%
（うち現先・レポ）	(316,198,641,800)	51.9%
（うち割引手形）	(0)	0.0%
その他資産	299,176	0.0%
純資産総額	609,833,410,369	100.0%

・固定債：変動利付債以外の債券。

基準価額および純資産総額

基準価額	10,000円
純資産総額	6,098.33億円

ポートフォリオ特性

平均残存日数	4.5日
--------	------

国内（邦貨建）公社債（新株予約権付社債（転換社債）を除く）明細表

	額面金額(円)	評価金額(円)	残存期間別比率			
			1年未満	1年以上	2年以上	5年以上
国債	12,000,000,000	11,990,469,393	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地方債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特殊債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金融債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
普通社債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	12,000,000,000	11,990,469,393	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%

債券の格付分布

格付種類	比率
AAA格	0.0%
AA格	0.0%
A格	2.0%
BBB格	0.0%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

短期金融商品(CP・CD)の格付分布

格付種類	比率
A－1格	0.0%
A－2格	0.0%
A－3格	0.0%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。・平均残存日数は組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・変動利付債の残存日数は、次回利払日までとして計算しています。・特殊債とは独立行政法人、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の総称です。・格付は、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も低い格付を表示しています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。